

# 公益社団法人 大和高田市シルバー人材センター

## 令和6年度 事業計画

新型コロナウイルスの感染に伴う制限が順次緩和・撤廃され、位置づけが第5類感染症に変更されたことにより、我が国の経済情勢はようやくコロナ禍以前の水準に戻りつつあります。しかしながら海外に目を向けますと、ロシア軍の侵攻から2年以上経過するウクライナ情勢に加え、中東周辺で多発している紛争などの動向は、依然として世界の平和と、原材料費の高騰など経済情勢に暗い影を落としています。

さて、人口構造の変化によりさまざまな問題が発生すると懸念される2025年問題がありますが、日本の人口は2010年を境に減少を続けており、2025年には約800万人いる「団塊の世代」（1947～1949年生まれ）の方全てが75歳以上の後期高齢者となることで、国民の約5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。

2025年問題最大の課題は労働力人口の減少であり、元気な高齢者に地域社会に密着した仕事を提供し、生涯現役を目指すシルバー人材センターの役割と重要性は、ますます大きなものとなっていくと思われれます。

全国シルバー人材センター事業協会が掲げる「第2次会員100万人達成計画」に伴い、かねてから当センターにおいても、会員拡大、特に女性会員の拡大を推進してきましたが、より一層センター事業の普及啓発活動を行い、就業職種の拡大などを視野に入れて事業推進を図る必要があります。

また、請負・委任業務に加えて、シルバー派遣事業や職業紹介事業についても、より積極的に対応し、さらなる就業機会の開拓を図るとともに全ての会員が、「安全はすべてに優先する」、「安全なくして就業なし」という共通認識のもと、安全就業対策に取り組み、法令を遵守し公平・適正な就業の推進に努めます。

さらに世代間交流を推進するため、市をはじめとする関係機関との連携を図りながら、高年齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を推進することにより、活力ある地域社会づくりの実現に貢献してまいります。

### 1. 普及啓発活動

センター事業の充実・発展を目指し、市内全域における効率的かつ効果的な普及啓発活動を推進するため、ホームページのより一層の充実に努めるとともに、市内全戸、事業所等にリーフレットを配布し、更なる就業開拓を図ります。

## 2. 会員の確保・拡大

定年延長等社会環境の変化等により、会員数が減少しておりますが、センター事業の組織基盤の安定には会員数の増加が必須であると考えます。

月1回実施している「入会説明会」については、「入会説明会DVD」を活用した、説明会を開催しており、ホームページ内からも閲覧できるようにしておりますが、更に内容等を精査し、充実を図るとともに、特に女性会員の増加に向けて取り組んでいます。

## 3. 就業機会の開拓・拡大

就業可能な職域分野の拡大と会員自らの能力や希望に応じ、一人でも多くの会員の就業機会が確保できるよう、一般家庭、公共団体、民間事業所などの仕事ニーズの把握、調査に努め、多方面にわたる就業先の開拓を進めます。

また、労働者派遣事業や職業紹介事業については、奈良県シルバー人材センター協議会と綿密に連携を図りながら職域の拡大に取り組んでまいります。

## 4. 安全就業対策の取り組み

安全就業は、シルバー事業実施の根幹をなすものであり、「安全は全てに優先する」、「安全なくして就業なし」という原点に立ち戻って日々の業務に取り組み、「事故ゼロ」を目指さなければなりません。

特に高齢者に相応しくないリスクが伴う受注は、内容を再確認して受注しないという判断も必要となります。

また就業途上における交通ルールや就業における安全就業基準などを遵守し、安全就業についての研修会開催や、安全パトロール等を実施し、一層の安全就業対策に取り組めます。

センターでの働き方等について、会員の正しい理解と発注者様のご理解ご協力をいただきながら、さらなる安全就業対策に取り組めます。

## 5. 公平・適正な就業の推進

適正な就業を推進するため、労働関係法令等の一層の知識習得を図るとともに、センター全体としてローテーション就業やワークシェアリングの徹底化を図り、就業機会の適正化に努めます。

また、請負や委任に馴染まない業務については、シルバー派遣事業や職業紹介事業にて対応することに努め、発注者様へ丁寧な説明を行い、正しいご理解を得るための啓発活動を継続してまいります。

## 6. 社会参加活動

ボランティアなどの社会参加活動は、会員の充実感を高め、センターに対する地域からの信頼度を高めることから、大和高田市や奈良県シルバー人材センター協議会等が開催するイベントに積極的に参加して、ポン菓子の実演などを行い、世代間交流と、センターの普及啓発を兼ねた社会参加活動に努めてまいります。

## 7. 関係機関との連携強化

当センターと奈良県シルバー人材センター協議会、県及び市等とは、今後も地域社会の維持発展や高齢者の生きがいの充実、生活の安定等の目的に向かって一層連携を強化していかなければなりません。

これからも、シルバー事業全般にわたり必要に応じて意見交換や情報交換を実施するなど、良好な関係の維持、発展に努めてまいります。